

2024年1月22日

報道関係各位

ラサール不動産投資顧問株式会社

茨城県つくば市で「(仮称)谷田部物流センター」着工 ～つくば市近郊および首都圏広域への配送拠点に～

ラサール不動産投資顧問株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 奥村 邦彦、以下「ラサール不動産投資顧問」)は、同社グループが組成した特定目的会社を通じ、「(仮称)谷田部物流センター」の地鎮祭を本日1月22日に執り行いましたことをお知らせします。当施設は、本年2月1日の着工を予定しており、2025年2月に竣工予定です。

当施設は、茨城県つくば市に所在し、常磐自動車道「谷田部 IC」まで約2.1km、首都圏中央連絡自動車道(圏央道)「つくば中央 IC」から約2.5kmに位置し、高速道路網を利用した首都圏広域への配送が可能です。また、つくば市中心部に至るサイエンス大通りに面し、近隣エリア配送にも適した立地です。さらに、つくば市は近年人口が増加している地域であることから、雇用確保の面でも優位性があります。



【外観パース】※完成イメージ

建物は、2階建てで、荷物用エレベーターを4基、垂直搬送機を6基設置する計画で、効率的な運営が可能です。南北両面に合計72台分のトラックバースを備え、13台分のトラック専用待機場、ドライバー用トイレ、喫煙室を完備しており、トラックドライバーの労働環境向上にも配慮しております。また、倉庫は両面バースで1mのプラットフォーム式を採用しています。梁下有効高は5.5m～6.5mを確保し、クロスドック*としての作業効率の良さや、保管効率の高い倉庫デザインを提供します。

BCP(事業継続計画)対策として、非常用発電機を設置し、緊急時にも荷物用エレベーターや一部コンセント、トイレ等のライフラインを停止することなくオペレーションすることが可能です。環境負荷への配慮の面では、人感センサー付きLED照明や、節水トイレ等を採用することで、SDGsへの取り組みに貢献し、CASBEE(建築環境総合性能評価システム)のAランクの取得を見込んでいます。また、再生エネルギーの活用を視野に、将来的な太陽光発電設備の設置が可能な計画にしています。

各企業による物流効率化の過程で、交通利便性に優れたエリアに立地する近代的な物流施設へのニーズが高まっています。増加する物流需要を不動産の面から支えることは、マーケットの発展に寄与すると考えています。ラサール不動産投資顧問は、今後も各企業の戦略的物流拠点となる適地を見定め、テナント企業活動のニーズに柔軟に応える物流施設開発を積極的に進めてまいります。

* 貨物を物流センターに入荷後、在庫保管することなく、そのまま仕分けを行い、積み替えて出荷する方法。

【施設概要】

施設名	(仮称)谷田部物流センター
所在地	茨城県つくば市谷田部字向原 6696 番1 外
敷地面積	45,168.87 m ² (約 13,663 坪)
延床面積	49,137.18 m ² (約 14,863 坪)
構造	鉄骨造、地上 2 階建
用途	物流施設
着工	2024 年 2 月
竣工	2025 年 2 月(予定)
設計・施工	株式会社加賀田組 東京支店
施工主	谷田部プロパティ-特定目的会社

【周辺地図】



